

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月14日	
栃木県知事 福田 富一	様
提出者 住所 大阪府門真市大字門真1048番地 氏名 パナソニック住宅設備株式会社 足利工場長 若林 光博 電話番号 06-6903-9184	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	パナソニック住宅設備株式会社 足利工場
事業場の所在地	栃木県足利市羽刈町781-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	プラスチック製品製造業(別掲を除く)・プラスチック成形材料製造業(廃プラスチックを含む)・プラスチック成形材料製造業 [1851]
②事業の規模	製造品出荷額 29.4億円/年
③従業員数	26人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	107.54 t	
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・生産計画見直しによる切替頻度の削減 ・ミキシング配管縦型化による廃樹脂量削減 ・配管自動洗浄による廃液削減 ・生産立上時の樹脂ロス量削減（配管洗浄方法） ・ミキシング配管洗浄回数減による廃液削減 		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	102.16 t	
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・生産立上時の樹脂ロス量5%削減（配管洗浄方法変更品種拡大） ・ミキシング配管洗浄回数減による廃液削減 ・他品種連続生産での切替回数削減 		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・SMC製造工程で発生した廃樹脂、廃アセトン、廃NMPをそれぞれ種類毎に色分けしたドラム缶に保管及び区画をしている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・SMC製造工程で発生した廃樹脂、廃アセトン、廃NMPをそれぞれ種類毎に色分けしたドラム缶に保管及び区画をする。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

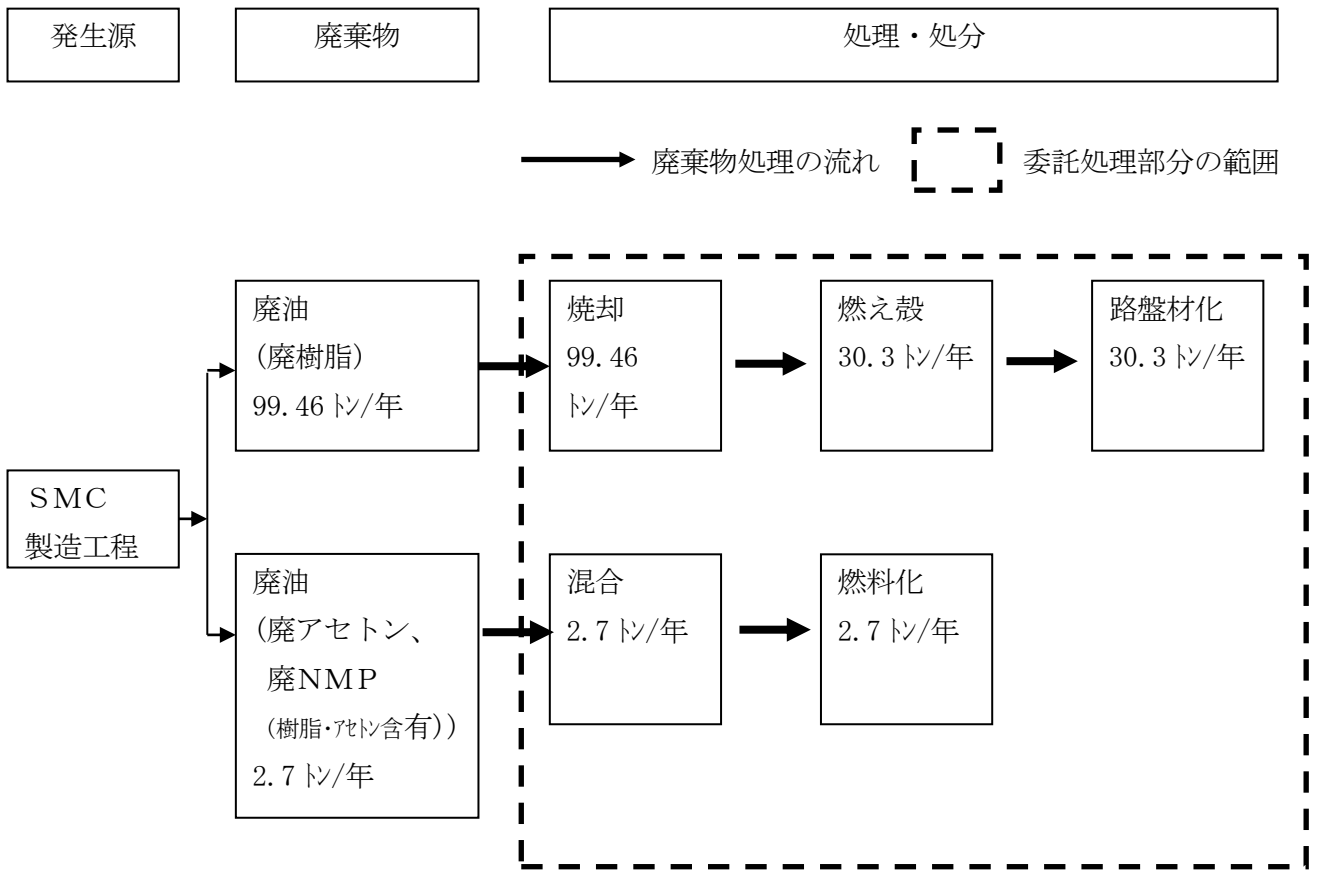
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	107.54 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	107.54 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
・優良認定処理業者への処理委託契約締結			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	102.16 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	102.16 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者の選定		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	107.54 t	
	(今後実施する予定の取組等) 電子マニフェスト加入済 電子マニフェスト対応処理業者との契約済		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別紙 1



別紙2

＜産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞

管理体制図

統括責任者		環境保全統括者	職名：製造部長
副統括責任者		環境保全管理者	職名：製造課長
産業廃棄物管理責任者		所属：足利製造課	職名：製造課長
リサイクル推進責任者		所属：足利製造課	職名：製造課長
特別管理産業廃棄物管理責任者		所属：足利製造課	職名：製造廃棄物管理担当
役割	統括責任者	○廃棄物処理方針の決定と指示 ○廃棄物処理委託契約の承認	
	副統括責任者	○廃棄物処理・削減リサイクル基準の承認 ○廃棄物管理の統括 ○委託先の判定結果の承認	
	産業廃棄物管理責任者	○排出状況の把握 ○適正処理及び減量化の指導 ○廃棄物の判定結果の承認 ○マニフェスト伝票の交付・保管	
	リサイクル推進責任者	○委託先の調査、選定と管理 ○リサイクル課題の設定と推進 ○廃棄物管理の教育・啓発 ○廃棄物処理計画の作成	
	特別管理産業廃棄物管理責任者	○排出状況の把握 ○処理計画の立案 ○適正な処理の確保 (保管状況の確認、委託業者の選定や適正な委託の実施、マニフェスト伝票の交付・保管)	
	環境保全会議	○廃棄物の処理に関する検討 ・発生抑制、再利用、削減テーマの進捗管理など必要な事項を検討する ・主催者 環境保全統括者 メンバー 環境管理責任者、専門委員、事務局	
	環境保全事務局	○委託契約の締結 ○官庁への報告	

廃棄物管理組織

